

メカトロテックジャパン 2019 レポート

主催：ニュースダイジェスト社
会期：10月23～26日
会場：ポートメッセなごや



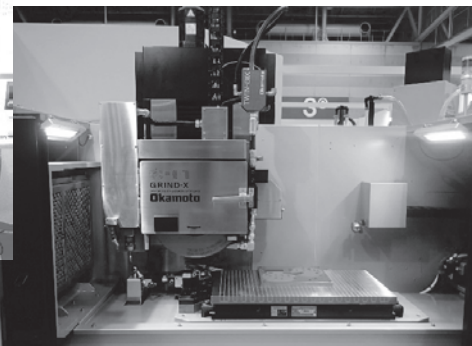
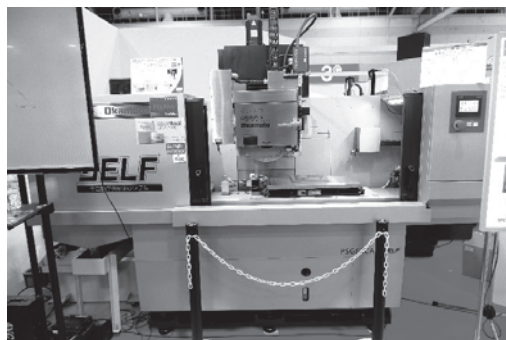
工作機械見本市「メカトロテックジャパン (MECT) 2019」(ニュースダイジェスト社主催) がポートメッセなごや(名古屋市港区)で10月23～26の4日間、開かれた。過去最多の477社・団体が1941小間を出展。キャッチフレーズの「ミライ、ゾクゾク。」に連動し、工作機械や工具、ツーリングなど関連の新たな技術や製品、サービスをアピールした。

同展示会は1987年にスタートした工作機械を中心としたFA専門技術展で、今回で17回目となる。日本国際工作機械見本市(JIMTOF)がない年に開催されるFA専門技術展としては国内有数の展示会で、今回は4日間で90,244人が

来場した。

最新の加工実演するコンセプトゾーンでは「中小必見!! ロボットで変わる」をテーマに中小企業に最適な産業用ロボットの活用法や高度化したシステムなどを会場で紹介し、ロボットで描く新たな生産現場の可能性を提示した。A～Dの4つのゾーンではそれぞれ「ロボット切削で広がる可能性」、「軽くて小さいロボットはこう使う」、「重筋作業を肩代わりする」、「小型部品を一緒に器用に組み立てる」をコンセプトにロボットと産業機械、工具を組み合わせた実演が見られた。

自動化、省力化をキーワードとした展示製品、技術を紹介する。



(株)岡本工作機械製作所は全自動平面研削システム「PSG 63 CA 3-SELF (第四世代)」を出品。ワークを置くだけの全自動研削システムで、最適な研削条件を下降中に適応制御できる。また、ワーク表面の高さを検知するマップ研削を採用。エアーカットをなくし、加工時間を短縮によって生産性を向上できる